

## 菊池渓谷の文献資料

安田 雅俊<sup>1)</sup>, 大野 愛子<sup>2)</sup>, 井上 昭夫<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>森林総合研究所九州支所森林動物研究グループ, <sup>2)</sup>熊本県立大学環境共生学部

### Literature of the Kikuchi Valley, Kumamoto Prefecture, Japan

Masatoshi Yasuda<sup>1)</sup>, Aiko Ohno<sup>2)</sup> and Akio Inoue<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>Forest Zoology Laboratory, Kyushu Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute

<sup>2)</sup>Faculty of Environmental and Symbiotic Sciences, Prefectural University of Kumamoto

#### はじめに

熊本県北部の菊池渓谷は、阿蘇外輪山の北西部の標高500–800mの間に位置し、1193haの面積からなる。菊池川の源流部であり、菊池水源あるいは深葉山とも呼ばれる。一帯は阿蘇くじゅう国立公園の第1種特別地域であるとともに、自然休養林や鳥獣保護区に指定されている。また、熊本県レッドデータブック2009年改訂版では、絶滅が危惧される動物が生息する重要な生息地のひとつとされている。菊池渓谷一帯は、かつて熊本藩の新仕立山として手厚く保護されてきた。溪流沿いには鬱蒼とした天然生広葉樹林が残り、その間をぬって流れる菊池川は、大小さまざまな瀬と淵と滝をつくり、変化に富む溪流環境を形成している。現在は面積の大部分を国有林が占めており、その面積の3分の2がスギ *Cryptomeria japonica* やヒノキ *Chamaecyparis obtusa* の人工林、残りの3分の1が天然林である。このように、菊池渓谷は学術的、生物的、文化的に貴重な森林であり、これまでに様々な分野の調査研究が行われてきた。2009~2011年、筆者らは、菊池渓谷において森林と野生動物の相互作用に関する共同研究を行った。その過程で、調査地の森林の由来や履歴、利用変化等を明らかにすることを目的として様々な文献資料を収集した。これらの資料を整理し、公表しておくことは、今後、菊池渓谷を対象とした研究を行おうとする研究者にとって有益である。そこで、本資料では、これら菊池渓谷に関する文献資料のリストを公表する。

#### 結 果

菊池渓谷に関する36件の文献資料が収集された。以下は、その一覧に筆者らの研究成果を追加し、出版年順に通し番号を付して並べたものである。また、内容を動物、

植物、菌類、歴史、利用・保護の5分野に区分して整理した。なお、ガリ版刷りの資料（通し番号12）を含む多くの文献資料は熊本県立図書館に所蔵されていた。

菊池渓谷（菊池水源あるいは深葉山）関係資料のリスト  
（2011年10月31日作成，2012年1月2日修正）

- 1) 肥後山林協会菊池郡支部. 1915. 菊池林業誌. 肥後山林協会菊池郡支部, 菊池郡, pp 78.
- 2) 熊本県教育会菊池郡支会(編). 1919. 菊池郡誌. 熊本県教育会菊池郡支会, 菊池郡, pp 573.
- 3) 丹羽岩槌. 1952 a. 菊池水源と深葉山. —四十三万瀧の由来—. 暖帯林, (1952.8), 19-24.
- 4) 丹羽岩槌. 1952 b. 深葉山と黎明村の由来(一). 暖帯林, (1952.9), 39-47.
- 5) 丹羽岩槌. 1952 c. 深葉山と黎明村の由来(二). 暖帯林, (1952.10), 107-116.
- 6) 丹羽岩槌. 1952 d. 深葉山と黎明村の由来(三). 暖帯林, (1952.11), 52-65.
- 7) 丹羽岩槌. 1952 e. 深葉山と黎明村の由来(四). 暖帯林 (1952.12), 31-40.
- 8) 丹羽岩槌. 1953 a. 深葉山と黎明村の由来(五). 暖帯林 (1953.1), 69-73.
- 9) 丹羽岩槌. 1953 b. 深葉山と黎明村の由来(六). 暖帯林 (1953.2), 45-54.
- 10) 塩谷 勉. 1955. 部分林制度の史的研究(4). —熊本藩の民植地について—. 九州大学農学部演習林報告, (24): 1-25.
- 11) 菊池郡町村会(編). 1957. 五. 林業. 菊池郡町村会(編)「新編菊池郡誌」, 菊池郡, 70-76 pp.
- 12) 鈴木時夫. 1959. 深葉国有林生態調査資料(1). 大分大学学芸学部生態学研究室, 大分, pp 108.
- 13) 井上由扶・青木尊重・関屋雄偉. 1968. 菊池水源自

- 然休養林森林施業調査報告書. 熊本営林局, 熊本, pp 104.
- 14) 井上由扶・青木尊重・新本光孝・松尾和幸. 1968. 菊池溪谷における風致保護林の森林構成. 日本林学会九州支部研究論文集, 22, 13-14.
- 15) 高木勝久・青木尊重. 1969. 自然休養林に関する基礎研究(I) - 菊池水源自然休養林のアンケート調査について -. 日本林学会九州支部研究論文集, 23, 11-12.
- 16) BOTANY 編集部. 1970. 深葉問題の経過. 自然保護運動の基礎として. 熊本記念植物採集会会誌 BOTANY, (20), 1-8.
- 17) 鈴木時夫. 1975. 阿蘇火山地方の潜在森林植生. 日本生態学会誌, 25: 1-12.
- 18) 熊本県. 1977. 阿蘇国立公園学術調査報告書. 国立公園協会, pp 70.
- 19) 熊本洞穴研究会(編). 1982. 菊池溪谷の動物. 熊本県立教育センター, 山鹿, pp 92
- 20) 吉倉 眞. 1984. 熊本の陸生哺乳動物. (1)研究史と陸生哺乳動物目録. 土龍, (11), 27-55.
- 21) 村瀬房之介. 1988. 自然休養林の利用と管理. 菊池溪谷におけるレクリエーション利用の実態と問題点. 九州大学農学部演習林報告, (59): 27-46.
- 22) 吉倉 眞. 1988. 熊本の陸生哺乳動物. (2)分布と実態. 土龍, (13), 100-117.
- 23) 吉倉 眞. 1989. 菊池溪谷について. 吉倉 眞「熊本の自然そして両生類の性分化」. 熊日情報文化センター, 熊本, 50-52 pp.
- 24) 吉倉 眞. 1991. 阿蘇・菊池溪谷の自然. くまもとの自然シリーズ(3). 熊本生物研究所, 熊本, pp 143.
- 25) 西岡鐵夫・荒井秋晴. 1994. 阿蘇の動物. 熊本大学学生部(編)「熊本大学放送講座. 阿蘇-自然と人の営み-」. 熊本大学学生部, 熊本, pp 103-128.
- 26) 加藤僖重. 2004. シーボルトの弟子美馬順三が訪ねた熊本県菊池溪谷. 野草(野外植物研究会), 70 (518), 19-22.
- 27) 荒井秋晴・坂田拓司・中園敏之・松下正志・長尾圭祐・本郷文和. 2005. 熊本県における森林性および洞窟性コウモリ類(I). 熊本野生生物研究会誌, (4), 1-9.
- 28) 大田眞也. 2009. 阿蘇・森羅万象. 弦書房, 福岡, pp 244.
- 29) 堤 克彦(監修). 2009. 保存版 菊池・阿蘇今昔写真帖. 郷土出版社, 松本, pp 233.
- 30) 熊本県希少野生動植物検討委員会. 2009. 改訂・熊本県の保護上重要な野生動植物-レッドデータブックくまもと2009-. 熊本県, 熊本, pp 597.
- 31) 佐橋憲生. 2010. 森と微生物(2) 絹皮病の伝播様式 - 熊本県菊池溪谷における事例. 山林, (1509), 46-19.
- 32) Sahashi, N., Akiba, M., Ishihara, M., Miyazaki, K. & Seki, S-I. 2010. Distribution of genets of *Cylindrobasidium argenteum* in a river valley forest as determined by somatic incompatibility, and the significance of basidiospores for its dispersal. Mycological Progress, 9, 425-429.
- 33) 大野愛子・安田雅俊・井上昭夫. 2010. 菊池溪谷の野生哺乳類. -吉倉・荒井(1982)の調査から30年後の状況-. 熊本野生生物研究会誌, (6), 1-12.
- 34) 安田雅俊・大野愛子・井上昭夫. 2010. 熊本県におけるスミスネズミ *Eothenomys smithii* の捕獲. 熊本野生生物研究会誌 (6), 33-38.
- 35) 安田雅俊・大野愛子・井上昭夫. 2011. 菊池溪谷の野生動物. ヤマネ・ネットワーク, 熊本, pp 25.
- 36) 大野愛子・安田雅俊・井上昭夫. 2011. ヤマネ *Glirulus japonicus* の捕獲法の検討と日内休眠の観察. 九州森林研究, 64, 69-71.

分野別リスト (数字は上記の通し番号を示す)

- 動物 18, 19, 20, 22, 24, 27, 28, 30, 33, 34, 35, 36  
 植物 12, 13, 14, 17, 18, 24, 25, 26, 30  
 菌類 31, 32  
 歴史 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 29  
 利用・保護 15, 16, 21, 23

受付日: 2011年10月31日 受理日: 2012年1月2日

連絡先: 安田雅俊

〒860-0862 熊本県熊本市中央区黒髪4-11-16  
 森林総合研究所九州支所森林動物研究グループ  
 ファックス 096-344-5054  
 電子メール yasuda@mammalogist.jp